

# よこはま動物園ズーラシアに マレーバクが来園します！

令和5年6月6日(火)に、横浜市繁殖センターからよこはま動物園にマレーバクの「アルタイル」(オス・3歳)が来園します。今回の移動は、(公社)日本動物園水族館協会生物多様性委員会のマレーバク管理計画に沿って行われます。

今後は、「アルタイル」の状態を慎重に観察しながら、展示と繁殖に取り組んでいきます。公開については、よこはま動物園のホームページでお知らせします。



▲来園する個体(愛称:アルタイル)

## 当日の取材について

動物の搬入当日の取材はできませんが、掲載用の写真等を提供します。

## お問合せ先

よこはま動物園	副園長	久保 良法	Tel 045-959-1298
横浜市環境創造局	動物園課長	白井 智廣	Tel 045-955-1911

## 【参考資料】

### ■ 個体情報

- ・今回来園する個体

アルタイル(オス)	令和元年 7 月 17 日	東武動物公園生まれ
-----------	---------------	-----------

### ■ マレーバクについて

和 名	マレーバク
英 名	Malayan Tapir
学 名	<i>Tapirus indicus</i>
分 類	奇蹄目 バク科
分 布	ミャンマー南部からマレー半島、スマトラ島
生 態	現存するバク 4 種のうち唯一アジアに生息しており、バクの仲間では最も体が大きいことで知られています。ほかのバクと違って、体の色が黒と白のツートンカラーになっているのが特徴です。熱帯雨林の森の中で単独で生活していて、木の葉や草などを食べます。水辺を好み、泳ぎも巧みです。生息地の破壊などで数が少なくなり、絶滅が心配されています。
ワシントン条約 (CITES)	附属書 I : 絶滅のおそれのある種で取引による影響を受けている又は受けるおそれのあるもの
国際自然保護連合 (IUCN) レッドリスト	絶滅危惧種 (EN) : 近い将来における野生での絶滅の危険性が高いもの
当園飼育頭数	2 頭 (オス 1 頭、メス 1 頭) ※今回来園する個体は含まず
国内飼育園館	13 園館 34 頭 (オス 18 頭、メス 16 頭) ※令和 5 年 4 月 30 日現在

### ■ よこはま動物園ズーラシアについて

- ◆ 入 園 料 : 大人 800 円、中人・高校生 300 円、小・中学生 200 円、小学生未満無料  
毎週土曜日は高校生以下無料 (要学生証等)  
よこはま動物園・金沢動物園共通年間パスポート 18 歳以上 2,000 円
- ◆ 開園時間 : 9:30~16:30 (入園は 16:00 まで)
- ◆ 休 園 日 : 毎週火曜日 (祝・休日の場合は開園し、翌日休園) 12/29~1/1、1/4 ※臨時開園あり
- ◆ 交 通 : 相鉄線「鶴ヶ峰」「三ツ境」駅、JR 横浜線・横浜市営地下鉄「中山」駅から  
「よこはま動物園」行きバスで約 15 分、「横浜」駅から「よこはま動物園」行きバスで約 1 時間
- ◆ U R L : <https://www.hama-midorinokyokai.or.jp/zoo/zoorasia/>
- ◆ 住 所 : 横浜市旭区上白根町 1175-1
- ◆ 問合せ先 : 045-959-1000



### ■ 横浜市繁殖センターについて (非公開施設)

希少動物の保全及び繁殖を通して生物多様性の保全に貢献しています。これまで、カンムリシロムクの野生復帰やカグーやミソゴイ等の飼育下繁殖に成功してきました。

また、国内の動物園としては初めての研究を目的とした実験設備を備え、希少野生動物の亜種判定や個体間あるいは種間の近縁関係、雌雄判別などに関する遺伝子解析や繁殖生理理解明のための性ホルモン動態の解析など、「種の保存」に関わる研究を行っています。さらに、横浜市立動物園の動物からの精子、卵子、組織の収集・凍結保存、人工授精等を試み、遺伝資源の保存にも取り組んでいます。

- ◆ U R L : [https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/machizukuri-kankyo/midori-koen/zoo\\_garden/hanshoku/](https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/machizukuri-kankyo/midori-koen/zoo_garden/hanshoku/)
- ◆ 住 所 : 横浜市旭区川井宿町 155-1
- ◆ 問合せ先 : 045-955-1911

